

# いみず市議会だより

## No.14

平成21年5月1日発行

E-mail [gikai@city.imizu.lg.jp](mailto:gikai@city.imizu.lg.jp)

発行／射水市議会  
 〒934-8555 編集／広報編集委員会  
 TEL 射水市本町二丁目10番30号  
 FAX 0766(82)1950  
 0766(82)8308

## 射水の先覚



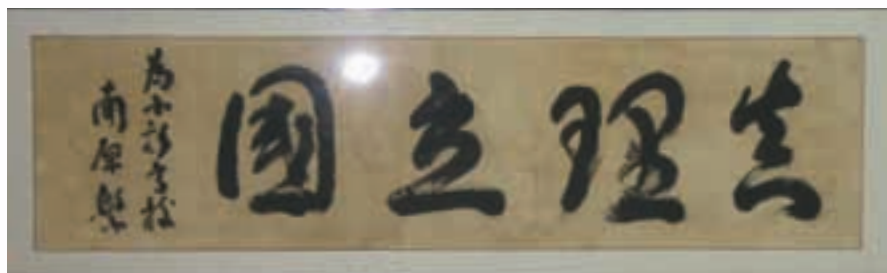
昭和44年  
小杉高校創校50周年にて



創造

なんばら しげる  
南原 繁氏 (1889年～1974年)

大正6年3月から大正8年1月まで射水郡（現富山市と現高岡市の一部を含む）の郡長として赴任。大正7年に県内で米騒動が起こり、世情騒然とした中、郡内の民生安定に努めたほか、庄川以東の治水事業（乾田化）や郡立農業公民学校（現県立小杉高校）の設立などに尽力。2年足らずで内務省へ帰任、後に東京大学総長を務められた。氏は後年、射水郡長時代を懐かしがり「射水が第2の故郷」と語っている。



真理立国

### 4月

### 3月

### 2月

## 市議会のつどき

24日	23日	22日	21日	20日	19日	18日	17日	16日	13日	12日	11日	10日	9日	6日	3日	2日	24日	
議会運営委員会	市民環境常任委員会	福祉病院常任委員会	産業建設常任委員会	総務文教常任委員会	議会運営委員会 本会議	予算特別委員会	議会運営委員会	産業建設常任委員会	市民環境常任委員会	福祉病院常任委員会	総務文教常任委員会	予算特別委員会 議会運営委員会	議会特別委員会 議会運営委員会	本会議（一般質問）	議会運営委員会 本会議	議会運営委員会 本会議	議会運営委員会 全員協議会	議会運営委員会

〔定例会〕

## ●平成21年度各会計予算

会計名	予算額(千円)	伸率(%)
一般会計	35,349,444	▲ 6.1
国民健康保険事業特別会計	8,083,186	▲ 8.5
後期高齢者医療事業特別会計	1,599,399	▲ 2.0
老人保健医療事業特別会計	21,134	▲97.9
墓苑事業特別会計	30,517	▲36.6
介護保険事業特別会計	6,442,135	0.2
企業団地造成事業特別会計	74,194	▲18.7
水道事業会計	4,245,414	▲ 2.4
下水道事業特別会計	4,979,350	▲ 2.7
農業集落排水事業特別会計	559,317	▲16.8
病院事業会計	4,453,701	4.7
合計	65,837,791	▲ 6.2

3月定例会は、3月3日から19日までの17日間の会期で開催しました。

この定例会では、平成21年度予算をはじめ、統合庁舎建設基金条例の制定など議案45件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

また、人権擁護委員の推薦について意見を求められた諮問3件については、いずれも異議なしと答申しました。

**平成21年度予算可決、  
経済対策、雇用対策に重点**

## 射水元氣回復予算

～平成21年度の

重点課題における主な事業～

### ●安全・安心なまちづくり

- 雨水対策・高潮対策の強化……………排水ポンプ車、常設排水ポンプ設置
- 消雪施設整備……………全市消雪整備計画策定のための水原予備調査
- 放生津地区重点密集市街地整備……………事業計画作成、基本設計
- 防災対策……………女性消防団員の加入促進、自主防災組織の結成促進

### ●地域雇用・経済対策の強化

- 緊急雇用創出関連……………雇用・就業機会の創出、障害者雇用支援員、技能習得支援
- 融資制度の充実……………中小企業等融資枠及び保証料助成の拡充
- 地域商品券発行……………プレミアム付き商品券「いみず元気にせんまい券」の発行

### ●環境保全の推進

- 環境基本計画策定
- 旧ごみ焼却施設解体、ストックヤード整備計画策定
- 地球温暖化防止……………エコ認証事業、グリーンカーテン設置、住宅用太陽光発電システム設置補助

### ●行財政改革の推進

- 市税等の納付環境整備……………クレジットカード納付
- 公共用地先行取得事業特別会計の廃止
- 行財政改革集中改革プランの推進……………人件費抑制、事務事業の見直し、指定管理者制度の推進

## 可決した主な議案

### 条例

- 議案第22号** 射水市統合庁舎建設基金条例の制定について  
統合庁舎の建設に資することを目的として、基金を設置するもの
- 議案第25号** 射水市職員の給与に関する条例の一部改正について  
若手・中堅医師の人材確保のため、人事院勧告並びに国及び他の地方公共団体の状況を勘案して、初任給調整手当の支給限度月額を引き上げるもの
- 議案第29号** 射水市介護保険条例の一部改正について  
介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部改正に伴い、次のように改正するもの
  - ・保険料基準月額を4,575円から4,750円に引き上げる
  - ・第1段階から第3段階の負担割合を据え置き、現行の第4段階の者のうち、課税年金収入と合計所得金額の合計が80万円以下の者について保険料の負担割合を1.0から0.95に引き下げる
  - ・現行の第5段階を細分化し、合計所得金額が125万円未満の者について保険料の負担割合を1.25から1.20に引き下げるなど
- 議案第33号** 射水市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について  
企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律が改正されたことから次のように改正するもの
  - ・指定業種に健康生活関連製造業を追加する
  - ・投資要件を「5億円を超える場合」から「2億円を超える場合」に引き下げる

### その他

- 議案第41号** 不動産の処分について  
今井地内の市有地を売却するもの  
売却価格 5,220万円
- 議案第42号** 新湊公共下水道事業片口雨水ポンプ場土木工事請負契約について  
契約金額 3億6,120万円
- 議案第43号** 射水市立小杉小学校耐震補強及び大規模改造工事第1工区（建築主体工事）請負契約について  
契約金額 2億8,455万円
- 議案第44号** 射水市立小杉小学校耐震補強及び大規模改造工事第2工区（建築主体工事）請負契約について  
契約金額 2億265万円
- 議案第45号** 射水市立東明小学校屋内運動場改築工事（建築主体工事）請負契約について  
契約金額 3億5,679万円

## 可決した決議

次のとおり決議しました。

### ○市議会議員年金制度の安定的運営の確保に関する決議

（要旨）

市町村議会議員の年金財政は、平成の大合併の大規模かつ急速な進展等により、会員が4割減少するとともに年金受給者が2割増加したことで、平成23年には積立金が枯渇し、破綻が確実視されている。

国においては、国策として推進された市町村合併に協力した市議会議員の思いを受け止め、その責任において合併特例法に基づく激変緩和措置を強化するなど、市議会議員年金制度の安定的運営の確保に向け適切な措置を講ずるよう求める。



## 代表質問(3月6日)

各会派を代表する5名が、市政方針等について質問しました。

(掲載 質問者順)



中村 弘 議員  
(自民クラブ)

### 問 平成21年度予算と重点施策について

#### 策について

**答** 安全・安心なまちづくり、地域雇用・経済対策強化、環境保全の推進、行財政改革推進の4本の柱を重点課題とした。中でも地域雇用対策や地域経済対策は需要の創出や事業の前倒しを行い、平成20年度補正予算と切れ目なく運用できるような一体的に取り組み、一方で行財政改革を断行するメリハリのある予算とした。

### 問 市内経済対策について

**答** 経済動向は、急速な景況悪化が続いており、厳しい状況にある。当面減産の動きが急拡大し、雇用や資金繰り動向に留意が必要となっている。

雇用面では、国や県の雇用創出事業に加え、市単独で職業者の能力再開発訓練への奨励金交付等の緊急対策を予定している。また、消費刺激策として地域商品券「いみず元気にせんまい券」を10パーセントのプレミアム付きで発行し、市内経済の活性化を図る。

### 問 行財政改革について

#### ① 統合庁舎について

**答** 総合計画で予定した10億円のうち、新年度で2億円を計上した。新しく、(仮称)統合庁舎建設基本構想策定委員会を大学教授等の有識者や各地区・各分野における市民代表で立ち上げるなど速やかに対応したい。

#### ② 地域振興会の本格導入

**答** 振興会事務局の体制強化や職員応援団による支援のほか、市広報で意識啓発を通じ協働の基盤構築に努力する。

**答** 今後、集中改革プランに掲げた施設の検討を進める。

### 問 学校耐震化計画について

**答** 耐震化率は小・中学校全体で昨年同期より3・3ポイント進んだ。引き続き、小杉小学校の耐震補強、東明・片口各小学校の体育館改築を行う。今後は大島小学校校舎の一部と下村小学校の体育館を改築し、それ以外は優先度の高い順に取り組み。

### 問 市民病院について

#### ① 救急病棟の整備は

**答** 患者の搬送状況や病院の経営診断の結果、医師確保の見通し等を勘案して、規模等について改めて検討する。

#### ② 病院改革プランは

**答** 経営効率化は3年を目標に収支改善の筋道を確立し、収支計画は平成25年度に経常収支をプラスにする。

#### ③ 地方独立行政法人化の検討

今後慎重に検討する必要があるが、市民の生命・健康を守っていくため当面は現在の経営形態を維持したい。

**答** 今後慎重に検討する必要があるが、市民の生命・健康を守っていくため当面は現在の経営形態を維持したい。

### 問 経済危機に対応した財政計画について

**答** 今後とも国の動向や地域経済情勢等を注視し、積極的な事業の追加・前倒しを行う。本市独自の地域雇用、経済対策の推進に全力を尽くす。

### 問 均衡ある発展を促す事業計画について

**答** これまで均衡ある発展を目指し、タウンミーティングなどで市民の声を聞きながら取り組んできた。行財政基盤の強化なくして住民サービスの上にはありえないと考えており、地域資源を生かした協働のまちづくりを進めたい。

### 問 新湊大橋周辺整備について

**答** 国でロシア向けトライアル輸送実験を実施しており、県ではその実験結果等を活用して多面的にシーアンドレールの可能性を調査・研究する。それらの動向を注視しながら万葉線の延伸等を検討していきたい。また、大橋周辺の整備については、国・県と協議を進めており、新湊まちづくり方策の事業と整合性を図りながら実現に努力する。

### 問 環境保全対策の強化について

**答** エコ認証事業は、一般家庭や事業所などで7月から9月までの電気やガス等のエネルギー使用量が前年と比較してどうであったかを評価するものである。6パーセント以上削減された場合は「エコ認

### 問 エコ認証事業並びに「グリーンカーテン設置事業」の具体的な事業内容・事業効果などについて

**答** エコ認証事業は、一般家庭や事業所などで7月から9月までの電気やガス等のエネルギー使用量が前年と比較してどうであったかを評価するものである。6パーセント以上削減された場合は「エコ認

### 問 エコ認証事業並びに「グリーンカーテン設置事業」の具体的な事業内容・事業効果などについて

**答** エコ認証事業は、一般家庭や事業所などで7月から9月までの電気やガス等のエネルギー使用量が前年と比較してどうであったかを評価するものである。6パーセント以上削減された場合は「エコ認

### 問 エコ認証事業並びに「グリーンカーテン設置事業」の具体的な事業内容・事業効果などについて

**答** エコ認証事業は、一般家庭や事業所などで7月から9月までの電気やガス等のエネルギー使用量が前年と比較してどうであったかを評価するものである。6パーセント以上削減された場合は「エコ認

### 問 エコ認証事業並びに「グリーンカーテン設置事業」の具体的な事業内容・事業効果などについて

**答** エコ認証事業は、一般家庭や事業所などで7月から9月までの電気やガス等のエネルギー使用量が前年と比較してどうであったかを評価するものである。6パーセント以上削減された場合は「エコ認

### 問 エコ認証事業並びに「グリーンカーテン設置事業」の具体的な事業内容・事業効果などについて

**答** エコ認証事業は、一般家庭や事業所などで7月から9月までの電気やガス等のエネルギー使用量が前年と比較してどうであったかを評価するものである。6パーセント以上削減された場合は「エコ認

### 問 エコ認証事業並びに「グリーンカーテン設置事業」の具体的な事業内容・事業効果などについて

**答** エコ認証事業は、一般家庭や事業所などで7月から9月までの電気やガス等のエネルギー使用量が前年と比較してどうであったかを評価するものである。6パーセント以上削減された場合は「エコ認

### 問 エコ認証事業並びに「グリーンカーテン設置事業」の具体的な事業内容・事業効果などについて

**答** エコ認証事業は、一般家庭や事業所などで7月から9月までの電気やガス等のエネルギー使用量が前年と比較してどうであったかを評価するものである。6パーセント以上削減された場合は「エコ認

### 問 エコ認証事業並びに「グリーンカーテン設置事業」の具体的な事業内容・事業効果などについて

**答** エコ認証事業は、一般家庭や事業所などで7月から9月までの電気やガス等のエネルギー使用量が前年と比較してどうであったかを評価するものである。6パーセント以上削減された場合は「エコ認

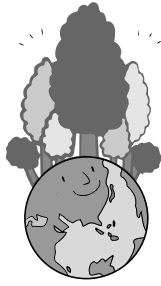
### 問 エコ認証事業並びに「グリーンカーテン設置事業」の具体的な事業内容・事業効果などについて

**答** エコ認証事業は、一般家庭や事業所などで7月から9月までの電気やガス等のエネルギー使用量が前年と比較してどうであったかを評価するものである。6パーセント以上削減された場合は「エコ認

証書」を交付し、広報誌などで公表するとともに苗木を贈呈し緑化推進につなげる。グリーンカーテンは建物の壁面等に関する性の植物を生育させることにより、省エネルギー効果を期待するものである。昨年試行し、効果が得られたので各庁舎や保育園などに拡大しPRしていく。

## ②環境基本計画の中での環境教育について

**答** 環境保全対策は一人ひとりの意識が大切であり、環境教育の推進手法について検討し、計画に反映させたい。



## 問 快適で安心して暮らせるまちづくり

### 上下水道事業の事故災害に強いライフラインについて

**答** 広上取水場の耐震性向上による応急給水拠点の整備を

図るほか、雨水対策基本計画を策定し、災害に強いまちづくりを進める。また、職員の実践的な訓練を実施しており、さらに危機管理体制の充実を図る。



議員 幸子 義本  
(自民議員会)

## 問 平成21年度予算編成について

### ①基本方針と重点施策、射水元気回復予算の内容について

**答** 雇用・経済対策を積極的に予算化する一方、行財政改革を断行するなど健全財政に配慮した。市民が将来に夢と希望を持ち続けられるよう、その礎を造るための「射水元気回復予算」と位置付けた。

### ②地域商品券「いみず元気にせんまい券」について

**答** 1セット1万円に10パーセントのプレミアムを付け、

総額2億2千万円分を4月中に発行する。市民を対象に1人3万円を限度とし、使用期限は9月末と考えている。

## 問 地域振興会の現状と課題について

### ①地域振興会事務局について

**答** 事務局強化のための交付金の充実、市職員による地域支援の強化等活発に事業展開できるように支援していく。

### ②都市内分権の必要性について

**答** 可能な限り必要な権限と財源を移譲するとともに、積極的な地域づくりを展開できるように支援の充実に努める。

### ③住民自治基本条例について

**答** 当面は昨年提言された「協働のまちづくり基本指針」に基づき、住民自治や市民協働を進めていきたい。

## 問 統合庁舎建設について

**答** 複数の建設候補地を含めた基本構想を9月議会に示したい。その後、一定の方向が見出されれば基本計画の策定

に着手したい。

## 問 地域審議会について

**答** 地域審議会と地域振興会の役割・性格は異なるので地域振興会の伸展が影響を与えるものではないが、どうあるべきか今後検討していきたい。

## 問 バイオマスタウン構想について

### ①利活用方法の推進計画の策定について

**答** 推進委員会を立ち上げ、産学官民一体となり、持続性の高い活動を目指す。

### ②バイオマスの教育・食育へのサポートの充実について

**答** 食と環境が密接につながること教える食育にまで発展させる支援をしたい。

## 問 教育環境の充実について

### ①ゆとり教育の問題点と新制度の下での改善について

**答** 生きる力をはぐくむという基本理念は変わらず、「習得、活用、探求」の学習活動をバランスよく実施したい。

### ②実効性のある指導体制について

**答** 伝統ある小学校教育研究会や中学校教育研究会を今後とも支援していきたい。



議員 毅 帯刀  
(射水市市民党議員会)

## 問 新年度予算編成に当たっての市長の思いを伺う

**答** マニフェストの本旨である市勢の伸展や市民生活の向上を目指し、総合計画が始まった。計画事業も着実に予算化しており、市民が幸せと希望を感じられるよう努める。

## 問 4年間の市長の実績と評価は

**答** 先の市長選挙で示したマニフェストを政策の基本と位置づけ、その達成に全力で取り組んできた。子ども医療費の無料化拡大、全市域でのコミュニティバス運行、徹底した行財政改革による健全財政



の確立、富山新港の物流機能強化、協働のまちづくり等をおむね順調に進ちよくしている。しかし、もっとも大切なことは、市民満足度をいかに高めることができたかであり、評価は市民一人ひとりがされるべきと考えている。



### 問 定額給付金とプレミアム商品券について

①市長は定額給付金に賛成か、また給付金を受け取るか

**答** 経済情勢が急激に悪化する中、少しでも経済の活性化につなげたいという思いは理解する。私は受け取り、趣旨に沿い市内で消費したい。  
②プレミアム商品券を少しでも多くの方に販売する工夫を  
**答** なるべく多くの方に販売するため1人3万円を限度とする

する予定である。

### 問 ふるさと雇用再生特別交付金事業と緊急雇用創出事業について

**答** ふるさと雇用再生特別交付金事業では7事業で延べ13人、緊急雇用創出事業では16事業で延べ40人を予定している。今後3年間で総事業費3億1千420万円、延べ203人の雇用創出となる。

### 問 道の駅、海の駅（海王丸パーク）、川の駅（川ついで）

**答** 観光振興や賑わいづくりの観点から、海王丸パークと川の駅を結び、点から線へ、線から面への広がりを考える。と新湊観光船との連携が不可欠であり、支援を検討したい。

### 問 障害者雇用の状況と今後の考え方について

**答** ハローワーク高岡管内の障害者雇用の法定雇用達成企業の割合は60・4パーセントである。21年度から障害者雇用支援員を配置し、雇用の拡充・仕事の開拓を図りたい。

### 問 桜町下水処理場の今後の考え方について

**答** 雨水ポンプ施設が併設されているため、既存施設の一部を利活用できるように雨水対策基本計画の中で検討したい。



高橋 賢治 議員  
(誠志会)

### 問 経済対策、雇用対策について

①市内の雇用状況は

**答** ハローワーク高岡管内で5人以上人員整理した企業は39社746人で、今後も厳しさを増すと考えている。

②経済雇用対策として計上した総額5億8千万円の中身は

**答** ふるさと雇用再生特別交付金事業等のほか、市単独の緊急雇用対策や中小企業融資の拡充、地域商品券の発行、公共事業を前倒しで実施する。

### 問 バイオマスタウン構想に

ついて

### ①民間事業者からの提案内容

**答** 10月1日現在、入所者494人、待機者423人である。

**答** 木質バイオマスから培養土の基材を製造し、その過程で発生するガスで発電する。稲わらやもみ殻、ゴルフ場の刈草を堆肥化する。廃食油を重油等と混合し燃料化するなどが提案された。

### ②実現に向けた市の姿勢と補助支援策、今後の展開は

**答** 国の施策に合えば交付金が受け取れ、市も前向きに検討したい。推進委員会を設置し、産学官民一体となり構想に沿った事業展開を進めたい。

### 問 高齢者介護の課題と取組について

①国で議論されている3つのビジョンについて

**答** いずれのビジョンも重要であり、今後その動向を注視し、担うべき分野を見極め、積極的に取り組んでいきたい。

### ②特別養護老人ホームの入所者数と待機者数について

### 問 介護保険料について

①被保険者の負担割合の増加について

**答** 第2号被保険者の負担軽減の分を第1号被保険者が負担する。介護報酬の改定、標準給付額の増加の影響により保険料の増加が見込まれる。

### ②県の推計との相違について

**答** 市の計画は第3期の実績を踏まえ、県の支援計画と整合性を図り、取りまとめた。

### ③基盤整備の具体的な対応について

**答** 必要なサービスが住み慣れた地域で受けられるよう適正な配置に整備する。

### 問 コミュニティバス利用実態と見直しについて

**答** 昨年見直した路線はおおむね効果が上がっており、今年も要望を中心に見直す。

### 問 全国体力テスト(小・中)について

**答** 結果の公表は、学力調査と同様に都道府県単位で行うのが適当と考える。



### 一般質問 (3月9日)

10名が市政全般について質問しました。

(掲載 質問者順)



奈田 安弘 議員

**問** 道路網整備に関連した将来の市のあるべき姿について

**答** 東海北陸自動車道の全線開通や新湊大橋、国道8号の坂東交差点立体化など、本市を取り巻く道路環境は刻々と変化している。今後の道路整

備については、国道472号を都市基本軸とし、都市環状軸、広域交流軸を定めており、「地域をつなぐ道路網整備」を基本方針としていく。また、交通弱者が安心して暮らせる道づくりや快適で潤いのある道路空間の創出を進めていきたい。

**問** 大島絵本館を中心とした絵本文化の振興について

**答** 絵本文化事業が果たす役割は大きく、地域の文化・教育・福祉の向上に大きく寄与するものと期待している。今後とも大島絵本館を地区の文化ゾーンの拠点施設として、また、射水ブランドの地域文化を生かした体験施設として育て上げていきたい。

**問** 子どもの読書・学習環境の整備について

**答** すべての小・中学校に司書職員を配置しており、楽しく読書できる環境づくりなど、子どもの主体的な活動を支援している。今後とも図書

足率を高めるとともにネットワーキ化など学校図書館関係の整備に努めていく。



**問** 分家市政3年余りの民意のとりえ方について

**答** 毎年のタウンミーティングや出前講座等を開催するとともに市長への手紙や市へのメールなどを実施して常に市民の声に耳をすませてきた。今後とも議会と手を携えて声なき声を市政に反映していきたい。



菅野 清人 議員

**問** PPP都市に向けて

**答** ① PFI方式について 民間の技術能力や経営能

力が十分発揮され、財政負担の軽減が見込まれる事業について、従来の手法と比較し、導入の可能性を検討したい。

**② 指定管理者制度について**

**答** 本年4月から導入する施設を含め、38施設で指定管理者を公募し選定してきた。期間が満了する施設については、検証結果を踏まえ、今後とも適切に運用していきたい。

**③ 市場化テストについて**

**答** 国等の動向を見定め、平成21年度から試行する事務事業評価を通じ、効率的な業務について導入を検討したい。

**④ 民営化について**

**答** 今後とも安定的な運営や効果などを考慮し、慎重に検討していく必要がある。また、公民連携によるまちづくりを一層推進していきたい。

**問** 農業と食育の連携について

**答** ① 学校教育と農業、食育の連携について

**答** 農業体験などを通じて、

食育が生きる上での基本となるよう家庭・学校・地域が連携していきたい。

**② 農業を基盤とした地域循環型の経済システムの構築について**

**答** 地産地消、食料自給率の向上について、地道に事業の展開を図っている。

**③ 自然農法や有機農業への取組方について**

**答** 減農薬や有機肥料など環境負荷の軽減に配慮した持続性ある農業が園芸農家を中心に浸透してきており、これらの取組推進に努力したい。



小島 啓子 議員

**問** 聴覚障害者支援対策について

**答** ① 聴覚障害者向けの火災報知機設置補助対象の拡大を

**答** 身体障害者手帳2級以上

又は療育手帳Aを持った方が  
給付を受けることができる。

今後、関係事業所や関係団体  
の協力を得ながら、この件に  
限らず、情報の発信・提供に  
努め、給付内容や対象範囲等  
を検討していきたい。

②障害者自立支援法の規定に  
基づき、市役所内に公的資格  
を持った手話通訳者を設置さ  
れたい

答 聴覚障害者協会へは手話  
通訳者の常設設置の要望に対  
する代案として、決まった日  
時に設置するという提案をし  
たが了承が得られず、今後の  
課題となっている。職員が手  
話講座を受講するなど努めて  
おり、理解願いたい。

問 パークゴルフ場利用料金  
に市民割引制度を導入しては  
全面的に見直したが、他市と  
比較しても高くはない。年間  
利用券等の割引はないが、70  
歳以上の1日券は通常の半額  
の200円と安価に設定して

いる。

問 地球温暖化対策事業とし  
て、公共施設や小中学校に太  
陽光発電を導入すべき

答 今後、公共施設等の増改  
築に際し、地球温暖化対策や  
環境教育の一環として大切で  
あり、環境基本計画の中で検  
討していきたい。

問 とやまっ子子育て応援券  
事業について

答 医療機関で利用する場合  
に、現物給付となるよう県に  
働きかけていく。



新中 孝子 議員

問 独身男女の出会いをサポート  
する事業の実施について

トする事業の第一歩として、  
少子化対策の第一歩として、  
結婚しやすい環境づくりに関  
する施策が必要ではないか。  
市が窓口となり、(仮称)キュー  
ビット課の設置を要望する。

答 本市の平成19年の平均初  
婚年齢は、男性30.5歳、女性  
28.1歳となっている。結婚  
に対する意識を変えていくこ  
とや結婚奨励策については、  
行政として重要な少子化対策  
の課題の一つと認識している。  
出会いの場の創出については  
研究中であり、結婚を希望す  
る男女の出会いの環境づくり  
に努めていきたい。



津本 二三男 議員

問 学校集金で学校予算の不  
足を補てんするなど、市民に

税金以外の負担を求める事例  
がある。どう考えているか  
答 地方財政法に「割当的寄

付金等の禁止」などの規定が  
あり、これまで改善されてき  
ているが、引き続き、改善を  
指導していく。

問 地域振興会について、「さ  
らに補助金を削るためでは」  
「市の肩代わりに仕事が一  
方的に増やされてくるのでは」  
など不安の声がある。市民に  
対し、下請けではなく真に「対  
等なパートナー」としての位  
置付けを保障するため、条例  
の制定を求めたい

答 当面は条例を制定せず、  
市の「協働のまちづくり基本  
指針」に基づき進めたい。

問 市内4箇所の雇用促進住  
宅が廃止されようとしており、  
入居者に不安を与えている。  
廃止計画の撤回を政府に要請  
するよう再度求めたい

答 入居者が不安なく生活で  
きるよう、廃止計画の見直し  
について関係機関に申し入れ  
ていきたい。  
問 旧太閤山小学校跡地につ  
いて、地元地区に提示した当

局の利用計画案では、旧グラ  
ウンドは民間売却、施設は公  
民館と保育園のみ。旧小杉町  
の計画案にあった子育て支援  
センター、児童館などがすべ  
て消えているが、どうしてか

答 公民館においては児童室  
や軽スポーツも可能な多目的  
ホールの設置、保育園等にお  
いては子育て支援機能を備え  
た施設など複合的な施設とな  
るよう、地元の意見も聞きな  
がら検討を加え、まとめ上げ  
たい。



高橋 久和 議員

問 統合庁舎基本構想の策定  
について

①新年度には複数の建設候補  
地を含む基本構想を策定する  
とされているが、既存庁舎の  
いくつかも候補地として含ま  
れるのか



**答** 建設候補地については、有識者のアドバイスも受けながら、まちづくりや利便性、経済性など選定するための項目を設定し、それらを客観的な観点で評価し、既存庁舎を含め複数個所に絞り込む。

**②基本構想の内容にはどの程度の検討項目を盛り込み、示そうとしているのか**

**答** (仮称)統合庁舎建設基本構想策定委員会において、統合庁舎の目指すべき基本理念や基本方針、統合庁舎の機能や規模、建設候補地、現庁舎の活用などを協議してもらう。

**問** 大門わかば幼稚園の通園バス運行について

**答** 今回の変更については、保護者への説明が遅れ、申し訳なく思っている。園児の乗車時間については、バスルートの運行計画を再度見直し、どのルートにおいても乗車時間を30分以内とすることで、おむね了承を得た。また、

新しい運行方法で子どもたちの教育環境に著しい影響があれば、随時見直すとともに1学期終了後に意見交換を行っていききたい。

**【その他の質問項目】**

○里山林整備と環境保全、野生動物による農作物被害について

○地域ぐるみ除排雪活動の機械更新について

○



竹内 美津子 議員

**①子育て支援隊などの活動実績・利用状況と包括的な支援拠点設置による支援組織等の活動推進とスキルアップを図る対応について**

**答** 支援活動の実績及び利用状況を評価し、さらなる支援の推進、充実を図る。

**②発達障害(児)への支援体制の整備について**

**答** 早期発見、改善に向けて、保健師などの専門職の連携等により、適切な対応に努めている。今後とも支援体制の充実を図り、ライフステージに応じた支援を行っていく。

**問** 単独調理方式(自校方式)

による給食継続を取り入れた大島小学校整備事業について  
**①教育行政における民意の反映について、教育委員長の見解を問う**

**答** 地域からの要望・意見などの民意を最大限尊重し、保護者・住民の理解を得るために努力する。

**②大島小学校における自校方式による給食の存続は、多くの保護者・住民の要望であるが、大規模改修となる校舎部分空きスペースに調理室を設置し、自校方式による給食継続を図ることはできないか、対応について見解を問う**

**答** 小学校改築・大規模改修事業において、給食室が改築部分に設置されている場合は

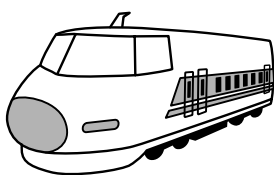
センター方式による給食とし、大規模改修部分に設置されている場合は改修により自校方式による給食存続という方針である。大島小学校改修校舎での給食室設置は難しい。



古城 克實 議員

**問** 北陸新幹線の進捗よく状況はどうか

**答** 市内の用地取得率は約70パーセントであり、工事は、平成21年度に残る5工区すべてで発注される予定である。



**問** 今後の観光戦略とまちづくりビジョンについてどのように考えているか

**答** 観光戦略については創意工夫したPR活動を実施し、広域観光の連携強化や官民一体となった戦略を進めたい。まちづくりについては駅の活用を図ることはもちろん、公共交通機関との連携を強めるとともに駅周辺の開発や道路網等のインフラ整備を進めていく。

**問** 市内に日本陸上競技連盟公認グラウンドがないため記

録会等は他市で行っている。歌の森運動公園の整備計画と併せ周辺駐車場の拡充整備を求めたい

**答** 現在、多目的グラウンドを公認陸上競技場に改修する場合の施設整備基本計画を策定中であり、今後、関係者の意見を聞きながら、平成22年度に開催される全国スポーツ・レクリエーション祭終了以降に改修工事を実施したい。駐車場は周辺の公共施設駐車場の活用するとともに、公園内で確保できるか検討していきたい

たい。

**問** 地区公民館に隣接するグラウンドの実情はどうか。地域の貴重な財産として多目的グラウンド、防災公園等に活用するべきではないか

**答** 地区グラウンドは7施設あり、スポーツ施設、公民館広場として活用されている。統廃合による学校の跡地を公民館や防災公園として整備し、活用することについては、周辺施設の状況等の関連性を総合的に判断し協議していく。



伊勢 司 議員

**問** 行財政改革について

①職員適正化計画の進捗よく状況と今後の考え方を伺う

**答** 平成21年4月1日の職員数は合併時から133人減少しており、進捗よく率は12

4パーセントである。行政センターも含めた組織の見直しなど調査検討し、平成21年度中に新しい定員適正化計画を策定する予定にしている。

②保育園民営化の基本的考え方を伺う

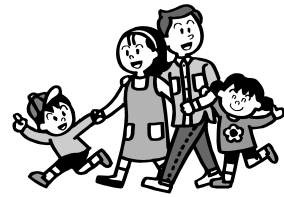
**答** 老朽化により改築を予定している保育園は、基本的には民設民営による整備を図る必要があると考える。また、希望があれば既存施設を活用した公設民営も検討したい。民営化に際しては、適切な財政支援を行い、運営しやすい環境づくりに努める。

**問** 子育て応援特別手当について

国の補正予算に盛り込まれたこの手当の内容等を伺う

**答** この手当は、定額給付金とは別に、子育てを支援するために1人3万6千円支給するものである。対象者は、平成14年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた子のうち第2子以降である子の属

する世帯の世帯主で所得制限はしない。対象者には個別に通知するとともに広報等で周知に努める。



**問** 射水警察署の早期建設について

市の重点要望事項となつているが、進捗よく状況を伺う

**答** 県では平成21年度予算案に整備のための調査検討費が計上された。候補地として市の有の遊休地を数箇所提案しており、引き続き要望していく。



吉野 省三 議員

**問** 小・中学生の問題行動に

歯止めがかかっていない状況をかんがみ、学校評議員制の機能充実を図ることが必要ではないか

**答** 現在の評議員は、PTA、自治会代表者、各種団体の方が主体であるが、今後は学識経験者や保護司、民生委員等にも加わっていただくことを進めたい。また、教育委員会としては、校長との面談を随時実施しており、評議員の意見を含め、学校の実情や課題の把握に努めている。

**問** 農商工連携支援事業について

①現状と今後の進め方は

**答** 現在、実施の可能性を含め、2件の相談を受けている。市では県立大学、射水商工会議所、射水商工会と連携して産学官連携促進事業を実施しており、このネットワークを生かして農商工連携が円滑に進められるよう、事業者と県立大学とのコーディネートや農林水産業者と中小企業者と

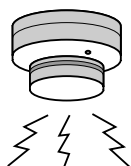
のマッチングに取り組む。

②補助事業申請等の窓口は

**答** 事業者が直接、国・県に申請することになっているが、市としても支援事業の周知に努め、推進していく。

**問** 住宅用火災報知器の普及率向上施策と目標値について

**答** 引き続き、広報紙やケーブルテレビ、防災訓練などを通じた啓発活動を行うが、特に、普及率の低い地域への重点的な働きかけ、女性消防団員の活用、地域振興会の活動事業としての取組要請等を推進する。平成21年度末の普及率目標を80パーセントに設定して取り組む。



問答については決められた字数の範囲で議員が作成し、広報編集委員会で編集しました。



# 委員会報告

3月定例会中に開催した各常任委員会と予算特別委員会の内容の一部をお知らせします。

での受益者負担としては想定していない。

する修学資金貸与制度を創設し、有能な看護師の確保に努めたい。

ちとして、何ができるのか研究し、対応していきたい。

年度までの工事計画である。

が、具体的な内容を伺いたいが、平成21年度は、利率5パーセント以上6パーセント未満の借入金金を2パーセント程度で借り換えるもので、26件、4億8千300万円余りを予定している。後年度以降の軽減額は、ほぼ4千400万円になる。

が、具体的な内容を伺いたいが、平成21年度は、利率5パーセント以上6パーセント未満の借入金金を2パーセント程度で借り換えるもので、26件、4億8千300万円余りを予定している。後年度以降の軽減額は、ほぼ4千400万円になる。

問 総工費と工事計画を問う

答 全体で約17億円、平成24年度までの工事計画である。

## 福祉病院 常任委員会

介護保険事業特別会計予算について

問 地域包括支援センター運営費の委託料について、その中身を伺いたい

答 現在、市直営で行っている新湊地区の地域包括支援センターの業務を民間法人に委託するものである。新湊地区は東西に長く、利便性を図るため2地区に分けて委託したいと考えている。大門・大島地区、小杉・下地区については既に民間法人に委託しており、円滑に移行できるように十分配慮したい。

問 市民病院の看護師の充足状況を伺いたい。

答 本年1月1日現在で看護師数は130名であり、5名不足している。看護学生に対する修学資金貸与制度を創設し、有能な看護師の確保に努めたい。

## 市民環境 常任委員会

国民健康保険事業特別会計補正予算について

問 特定保健指導事業費の動機付け支援・積極的支援の内容と減額の理由を問う

答 特定健康診査の結果、異常が認められた方を家庭訪問して運動や食事の指導を行うことなどが動機付け支援で、ある程度症状の重い方には直接スポーツ指導等を行い、重症化を防ぐのが積極的支援である。利用者が見込みより少なかったことと委託の単価が下がったことにより減額した。

問 国民健康保険事業特別会計予算について

問 少子化対策として、出産育児一時金などで、市独自の助成は考えられないか

答 子供を生み育てやすいま

## 産業建設 常任委員会

企業団地造成事業特別会計予算について

問 工業団地の売却単価と公債費の償還について問う

答 当初は償還分を含めて単価を設定するが、時間の経過や社会経済情勢等により単価を下げる必要がある。広上工業団地は完売したが、結果的に原価を割り込んだ分を一般会計から繰り入れて償還する。

問 水道事業会計予算について

問 水需要の低下と今後の経営について問う

答 家庭での節水意識の向上に加え、経済状況の悪化により大口需要に影響が出てきた。今後とも経常経費や工事コストの縮減を図り、ビジョンに沿った健全経営に努めたい。

片口雨水ポンプ場土木工事請負契約について

## 予算特別委員会

一般会計予算について

問 公債費を繰上げ償還する

答 平成21年度は、利率5パーセント以上6パーセント未満の借入金金を2パーセント程度で借り換えるもので、26件、4億8千300万円余りを予定している。後年度以降の軽減額は、ほぼ4千400万円になる。

問 学校のあり方研究事業はどう進めていくのか

答 小・中学校の適正規模や適正配置などを総合的に考え、子どもたちにとって望ましい教育環境の整備を進めていきたいと考えている。早急に結論を出すために、4月早々に研究会を立ち上げる。

# 委員会報告

3月定例会中に開催した各常任委員会と予算特別委員会の内容の一部をお知らせします。

## 総務文教 常任委員会

射水市統合庁舎建設基金条例の制定について

問 基金の積立額の目標は

答 平成21年度で2億円を積み立て、平成24年度までに10億円程度を積み立てる予定にしている。

射水市における行財政改革の推進に向けた第二次提言について

問 提言の中の受益者負担の適正化という観点から街灯・防犯灯の電気料はどうなるか

答 街灯・防犯灯の電気料については、市民協働の観点から考えており、この提言の中

での受益者負担としては想定していない。

する修学資金貸与制度を創設し、有能な看護師の確保に努めたい。

ちとして、何ができるのか研究し、対応していきたい。

問 国民健康保険事業特別会計予算について

問 少子化対策として、出産育児一時金などで、市独自の助成は考えられないか

答 子供を生み育てやすいま

問 総工費と工事計画を問う

答 全体で約17億円、平成24年度までの工事計画である。

問 学校のあり方研究事業はどう進めていくのか

答 小・中学校の適正規模や適正配置などを総合的に考え、子どもたちにとって望ましい教育環境の整備を進めていきたいと考えている。早急に結論を出すために、4月早々に研究会を立ち上げる。

問 国民健康保険事業特別会計補正予算について

問 特定保健指導事業費の動機付け支援・積極的支援の内容と減額の理由を問う

答 特定健康診査の結果、異常が認められた方を家庭訪問して運動や食事の指導を行うことなどが動機付け支援で、ある程度症状の重い方には直接スポーツ指導等を行い、重症化を防ぐのが積極的支援である。利用者が見込みより少なかったことと委託の単価が下がったことにより減額した。

問 市民病院の看護師の充足状況を伺いたい。

答 本年1月1日現在で看護師数は130名であり、5名不足している。看護学生に対する修学資金貸与制度を創設し、有能な看護師の確保に努めたい。

問 地域包括支援センター運営費の委託料について、その中身を伺いたい

答 現在、市直営で行っている新湊地区の地域包括支援センターの業務を民間法人に委託するものである。新湊地区は東西に長く、利便性を図るため2地区に分けて委託したいと考えている。大門・大島地区、小杉・下地区については既に民間法人に委託しており、円滑に移行できるように十分配慮したい。

問 基金の積立額の目標は

答 平成21年度で2億円を積み立て、平成24年度までに10億円程度を積み立てる予定にしている。

射水市における行財政改革の推進に向けた第二次提言について

問 提言の中の受益者負担の適正化という観点から街灯・防犯灯の電気料はどうなるか

答 街灯・防犯灯の電気料については、市民協働の観点から考えており、この提言の中

での受益者負担としては想定していない。

する修学資金貸与制度を創設し、有能な看護師の確保に努めたい。

ちとして、何ができるのか研究し、対応していきたい。

問 総工費と工事計画を問う

答 全体で約17億円、平成24年度までの工事計画である。



# 3 月 定 例 会 審 議 結 果

## 議 案

番 号	件 名	議決の結果
第 1 号	平成21年度射水市一般会計予算	可 決
第 2 号	平成21年度射水市国民健康保険事業特別会計予算	可 決
第 3 号	平成21年度射水市後期高齢者医療事業特別会計予算	可 決
第 4 号	平成21年度射水市老人保健医療事業特別会計予算	可 決
第 5 号	平成21年度射水市墓苑事業特別会計予算	可 決
第 6 号	平成21年度射水市介護保険事業特別会計予算	可 決
第 7 号	平成21年度射水市企業団地造成事業特別会計予算	可 決
第 8 号	平成21年度射水市水道事業会計予算	可 決
第 9 号	平成21年度射水市下水道事業特別会計予算	可 決
第10号	平成21年度射水市農業集落排水事業特別会計予算	可 決
第11号	平成21年度射水市病院事業会計予算	可 決
第12号	平成20年度射水市一般会計補正予算(第4号)	可 決
第13号	平成20年度射水市公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第2号)	可 決
第14号	平成20年度射水市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可 決
第15号	平成20年度射水市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	可 決
第16号	平成20年度射水市墓苑事業特別会計補正予算(第2号)	可 決
第17号	平成20年度射水市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可 決
第18号	平成20年度射水市水道事業会計補正予算(第2号)	可 決
第19号	平成20年度射水市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可 決
第20号	平成20年度射水市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	可 決
第21号	平成20年度射水市病院事業会計補正予算(第3号)	可 決
第22号	射水市統合庁舎建設基金条例の制定について	可 決
第23号	射水市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について	可 決
第24号	射水市個人情報保護条例の一部改正について	可 決
第25号	射水市職員の給与に関する条例の一部改正について	可 決
第26号	射水市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可 決
第27号	射水市特別会計条例の一部改正について	可 決
第28号	射水市ふれあいサロン条例の一部改正について	可 決
第29号	射水市介護保険条例の一部改正について	可 決
第30号	射水市立保育園条例の一部改正について	可 決
第31号	射水市児童館条例の一部改正について	可 決

番 号	件 名	議決の結果
第32号	射水市子ども医療費助成に関する条例及び射水市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正について	可 決
第33号	射水市企業立地推進条例の一部改正について	可 決
第34号	射水市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	可 決
第35号	射水市立学校設置条例の一部改正について	可 決
第36号	射水大門総合会館条例の一部改正について	可 決
第37号	射水市立学校体育施設の開放に関する条例の一部改正について	可 決
第38号	射水市通園バス運行条例の廃止について	可 決
第39号	新たに生じた土地の確認について	可 決
第40号	字の区域の変更について	可 決
第41号	不動産の処分について	可 決
第42号	新湊公共下水道事業片口雨水ポンプ場土木工事請負契約について	可 決
第43号	射水市立小杉小学校耐震補強及び大規模改造工事第1工区(建築主体工事)請負契約について	可 決
第44号	射水市立小杉小学校耐震補強及び大規模改造工事第2工区(建築主体工事)請負契約について	可 決
第45号	射水市立東明小学校屋内運動場改築工事(建築主体工事)請負契約について	可 決

## 諮 問

番 号	件 名	議決の結果
第 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申
第 2 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申
第 3 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申

## 議員提出議案

番 号	件 名	議決の結果
第 1 号	市議会議員年金制度の安定的運営の確保に関する決議	可 決

### 人事案件 ●●●● 人権擁護委員の推薦 ●●●●

尾 山 京 子 氏 (再任) 稲 垣 怜 子 氏 (再任)  
道 古 正 子 氏 (新任)

## 編 集 後 記

今年度に入り、市内各地で地域振興会が立ち上げられています。当初5つのモデル地区でスタートした地域振興会は、平成22年度末までには全地区で設置されることとなります。「自分たちのまちは自分たちでつくる」を基本に、地域の歴史や実情を踏まえたまちづくりが進むものと期待しています。地域を愛する気持ちが射水市全体を愛する気持ちにつながり、それこそが射水市発展のパワーとなるのではないのでしょうか。

## 議会を傍聴しませんか

次回、6月定例会は6月8日(月)から開会します。  
本会議は、どなたでも傍聴できます。  
また、本会議・予算特別委員会はケーブルテレビで放送しています。



〈広報編集委員会〉

委員 長 嶋 崎 栄 治 副委員 長 伊 勢 司  
委員 泉 田 恒 男 ・ 梶 谷 幸 三 ・ 津 田 信 人  
吉 野 省 三 ・ 橋 本 昌 樹 ・ 岡 本 良 幸  
新 中 孝 子 ・ 坂 東 昭